

NT SERIES



ラジカル制御形1液水性トリプル硬化ハイパープロテクト高機能塗料

ウォールバリアNTシリーズ ルームバリアNTシリーズ

～超高耐候性・ノンタック・超低汚染・耐皮脂軟化・汚染除去性・抗菌～

建築塗料の総合メーカー



スズカファイ株式会社

挑戦の先に見えた技術



NT SERIES

Triple硬化システムによる進化したハイパープロテクト機能を有する
ノンタック・超低汚染性・耐皮脂軟化・汚染除去性に優れたラジカル制御形ハイブリッド樹脂塗料シリーズです。

【上塗り】

◆ラジカル制御形Triple 硬化ハイパープロテクトハイブリッド樹脂塗料

ウォールバリアNTシリーズ

外装

つや有り
7・5・3分つや

■ラジカル制御形1液水性トリプル硬化形無機系ハイブリッド樹脂塗料

ウォールバリア水性無機NT

無機 超高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 防藻・防かび
ノンタック 超低汚染 耐皮脂軟化 高硬度

■ラジカル制御形1液水性トリプル硬化形無機系ハイブリッド樹脂強力防藻・防かび塗料

ウォールバリア水性無機NT-BIO

無機 超高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 強力防藻・防かび
ノンタック 超低汚染 耐皮脂軟化 高硬度

■ラジカル制御形1液水性トリプル硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

ウォールバリア水性シリコンNT

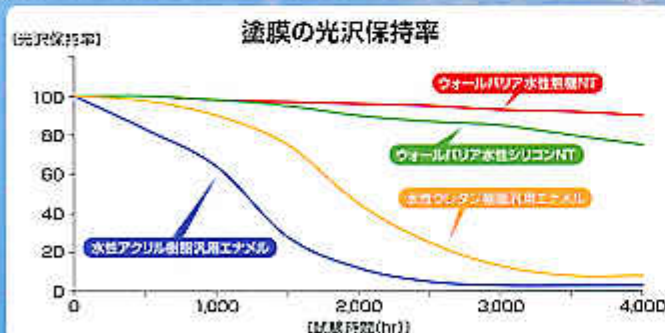
シリコン 高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 防藻・防かび
ノンタック 超低汚染 耐皮脂軟化 高硬度

■ラジカル制御形1液水性トリプル硬化形アクリルシリコン樹脂強力防藻・防かび塗料

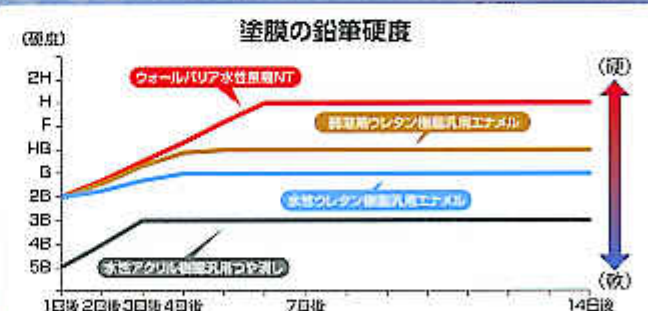
ウォールバリア水性シリコンNT-BIO

シリコン 高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 強力防藻・防かび
ノンタック 超低汚染 耐皮脂軟化 高硬度

促進耐候性結果(キセノンランプ法)



塗膜の表面硬度



粘着性試験結果

〈塗膜の粘着性試験〉
塗付した塗膜を24時間乾燥させた後、塗膜表面に脱脂綿を1分間圧つける。脱脂綿を取り除いた時の状態を評価した。

ウォールバリア
水性無機NT汎用水性
エナメル

屋外汚染暴露試験結果(期間:1年間)

工場地帯にて1年間暴露

ウォールバリア
水性無機NT汎用水性
エナメル

ルームバリアNTシリーズ

内装

つや有り・7・5・3分つや
つや消し(1分つや程度)

■ 1液水性トリプル硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

ルームバリア水性シリコンNT

シリコン 高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 防かび
ノンタック 耐油脂軟化 高硬度 汚染除去

■ 1液水性トリプル硬化形アクリルシリコン樹脂抗菌・抗ウイルス塗料

ルームバリア水性シリコンNT-抗菌

シリコン 高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 防かび
ノンタック 耐油脂軟化 高硬度 汚染除去 抗菌・抗ウイルス

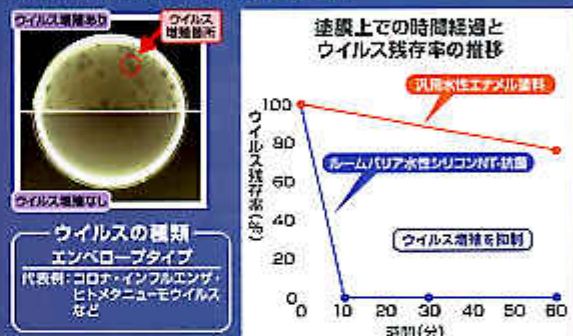
抗菌性

特殊抗菌剤により、優れた抗菌性を長期にわたり発揮します。抗菌塗膜は、紫外線や可視光などの光が無くても抗菌性が発現するため、暗室などの光が届きにくい環境でも安心してご使用いただけます。



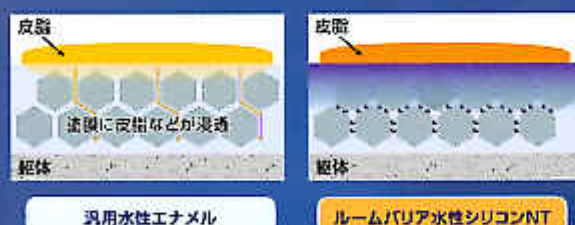
抗ウイルス性

エンベロープタイプのウイルスに対し優れた抗ウイルス性を発揮します。



耐油脂軟化性

Triple硬化により形成した緻密な塗膜は、油脂の浸透を抑制し、更に、油脂により軟化しにくい特殊樹脂の効果で表面のベタつきや汚れを抑制します。



汚染除去性

緻密な塗膜は汚染物の浸透を抑制し、タックフリーな塗膜は汚染物を拭き取り易いため、優れた汚染除去性を発揮します。



汚染除去試験：各汚染物を塗膜に付着させ、5分間経過後に20%角質した中性洗剤（又は弱アルカリ性洗剤）を含ませたガーゼで拭き取る。

商品体系

商品名	系統	容量	仕上がり	色相
ウォールバリア水性シリコンNT	水系	15kg 3kg	つや有り 7・5・3分つや つや消し (1分つや程度)	白・黒・赤 赤さび色 オーカー色 黄色・緑 銅色品
ウォールバリア水性シリコンNT-BIO				
ウォールバリア水性シリコンNT				
ウォールバリア水性シリコンNT-BIO				
ルームバリア水性シリコンNT	水系	15kg 3kg	つや有り 7・5・3分つや つや消し (1分つや程度)	白・黒・赤 赤さび色 オーカー色 黄色・緑 銅色品
ルームバリア水性シリコンNT-抗菌				

《可搬時間》

塗料	気温	5～15℃	15～25℃	25～35℃
WB水性グリップシーラー透明	6以内	4以内	2.5以内	
WB水性グリップホワイトシーラー	5以内	4以内	2.5以内	
WBグリップシーラー-EPO	7以内	5以内	3以内	
ワイドさびストップ	7以内	5以内	2以内	
アクアさびストップ	8以内	3以内	2以内	

《窯業系サイディングボード用》

商品名	系統	容量	仕上がり	色相
WB水性グリップシーラー透明	水系	15kgセット(14.1)	—	透明
WB水性グリップホワイトシーラー		3kgセット(2.9/0.2)	—	白
WBグリップシーラー-EPO	窯業系	15kgセット(13.2)	—	透明

《コンクリート・モルタル用》

下地	商品名	系統	容量	仕上がり	色相
WBリメック弾性フィラー-RE	WBリメック弾性フィラー-EPO	水系	15kg	—	白
WBリメック弾性フィラー-EPO					

※WBリメック弾性フィラー-RE：JIS A6909可とう形改修塗材RE

《金属系サイディングボード・一般鉄部・手摺用》

下塗	商品名	系統	容量	仕上がり	色相
下塗	ワイドさびストップ	水系	16kgセット(14.4/10) 4kgセット(3.6/0.4)	—	白・グレー・黒 赤さび色
	1液ワイドさびストップ		16kg・4kg		
	アクアさびストップ		16kgセット(15.1)		

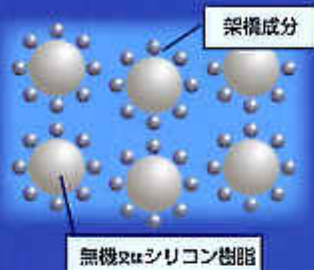
ハイパープロテクト機能

塗膜の劣化要因である「ラジカル」は、水分・酸素・紫外線により発生します。

1液特殊架橋システムと、塗膜表面の酸素硬化およびUV硬化による当社独自の「ハイパープロテクト機能」は、Triple 硬化システムによる強靱で緻密な塗膜を形成することで「ラジカル」の発生因子である水分の浸透を抑制し、卓越した耐久性を発揮します。

Triple 硬化システム

1. 強靱で緻密な 1 液反応硬化



樹脂の特殊架橋システムにより、強靱で緻密な塗膜を形成します。

特殊架橋後の塗膜

2. 塗膜表面の酸素によるオキシ硬化



塗膜形成の後、空気中の酸素で塗膜表面がより強靱・緻密になります。

オキシ硬化後の塗膜

3. 塗膜表面の紫外線による UV 硬化



塗膜形成の後、太陽光の紫外線で塗膜表面がより強靱・緻密になります。

UV 硬化後の塗膜

Triple 硬化システムにより形成した強靱で緻密な塗膜は、水の浸入を強固に防ぎ「ラジカル」の発生を抑制し、卓越した耐久性を発揮します。



高耐候性酸化チタン

通常の酸化チタン



「ラジカル」の発生

高耐候性酸化チタン



高密度シェル構造の「高耐候性酸化チタン」がラジカル発生を抑制します。

高性能光安定剤 (HALS)



紫外線吸収剤 (UVA)



塗替施工仕様書

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル等

●下地調整

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準消費量 (kg/m ² /回)	塗回数	乾燥時間 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	●既存塗膜の浮き、ふくれ、せり割れなどはサンダー・スクリューなどを用いて除去する。 ●汚れ、じんあいびりつきなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧:15MPa以上)で除去する。 ●水洗い後は乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 ●シーリング部は予めラフトン塗プライマーを塗装する。					

窯業系サイディングボード

●下塗り

2 下塗り	WBリメークサーフEPO 清水	100 3~5	0.2~0.4	1	3時間以上	ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	--------------------	------------	---------	---	-------	---------------------

※コンクリート・モルタル下地の塗替に使用可能です。

使用可能下塗り:カチオンシーラーEPO、カチオンホワイトシーラーEPO、ワイドシーラーEPO、ワイド浸透シーラーEPO、ワイド浸透シーラーホワイト等

●下塗りに、シーリング部用材料(WBリメークサーフEPO)は使用できませんのでご注意ください。

●下塗り(下地:特殊コーティング(ふっ素・光触媒等)窯業系サイディングボード用)

2 下塗り	WBグリップシーラーEPO	100 (希釈前)	0.08~0.18	1~2	4時間以上 7日以内	ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	---------------	--------------	-----------	-----	---------------	---------------------

※多い量の少ない塗料などを塗替える場合、塗付量目安0.05~0.07kg/m²とし、塗り過ぎにご注意ください。

※下地の扱いが難しい場合は2回塗りし、工程内の施工期間を2週間以上使用可能下塗り:WB水性グリップシーラーEPO、WBグリップホワイトシーラー

コンクリート・モルタル等

●下塗り(ウールローラー仕上げ) 既存塗膜:リシン・吹付タイル等

2 下塗り	WBリメークサーフEPO 清水	100 5~10	0.3~0.5	1	5時間以上	ウールローラー塗り
-------	--------------------	-------------	---------	---	-------	-----------

●下塗り(さざなみ模様仕上げ) 既存塗膜:リシン・吹付タイル等

2 下塗り	WBリメークサーフEPO 清水	100 1~3	0.8~1.5	1	8時間以上	バタンローラー塗り
-------	--------------------	------------	---------	---	-------	-----------

金属サイディングボード・一般鉄板・手すりなど

●素地調整

既存塗膜:SOP・フタル酸樹脂・塩化ビニル樹脂・アクリル樹脂など

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準消費量 (kg/m ² /回)	塗回数	乾燥時間 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、圧搾ホ、吹付けなどの手工具を用いて、さび、劣化塗膜などを除去する。 ●油類等は溶剤などで除去する。					

●下塗り

2 下塗り	ワイドセグストップ 塗料用シーラー	100 0~5	0.18~0.24	1~2	3時間以上 (乾燥後)	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り ^(注)
-------	----------------------	------------	-----------	-----	----------------	--

注1)ワイドセグストップをスプレー塗装する場合の希釈率は0~10%です。

使用可能下塗り:ワイドセグストップ、ワイドセグストップ、ワイドセグストップ、ワイドセグストップ、ワイドセグストップ

●エポキシ樹脂、シリコン、水性ラミネートEPOは使用できません。

●上塗り(各下地共通)

3 上塗り	ウォールバリアNTシリーズ 清水	100 0~10	0.12~0.2	2	3時間以上 (乾燥後) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り ^(注)
-------	---------------------	-------------	----------	---	--------------------------	--

注2)ウォールバリアNTシリーズをスプレー塗装する場合の希釈率は10~15%です。

使用可能上塗り:ウォールバリア水性シリコンNT、ウォールバリア水性シリコンNT-BI、ウォールバリア水性シリコンNT、ウォールバリア水性シリコンNT-BI、ウォールバリア水性シリコンNT、ウォールバリア水性シリコンNT-BI

●ウォールバリア水性シリコンNT、ウォールバリア水性シリコンNT-BIは金属系塗料系手すりには使用可能です。(別途:海外版参照)

用途

建築物内外壁など

適用下地

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALCパネル・スレート・鉄板・手すりなど

石こうボード・コンクリート・モルタル等

●下地調整

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準消費量 (kg/m ² /回)	塗回数	乾燥時間 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●素地のひび割れ、浮き、剥離、汚れは除去し、腐食、不具合、目詰りなどは予めパテなどの下地調整材で平潤にする。(ひび割れはウレタン系樹脂を充填してください。) ●汚れ、じんあいはブラシ、布などで除去し、ヤニ、油類等は溶剤などで除去する。 ●木ねじ、釘などで腐蝕処理がされていない箇所はさび止めの塗料を塗布する。					

●下塗り

2 下塗り	EPクリンシーラーホワイト 清水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	---------------------	--------------	-----------	---	-------	-----------------------------

使用可能下塗り:AEPCクリンシーラーホワイト、カチオンシーラーEPO、カチオンホワイトシーラーEPO、ワイドシーラーEPO、ワイド浸透シーラーEPO、ワイド浸透シーラーホワイトなど

●上塗り

3 上塗り	ルームバリアNTシリーズ 清水	100 5~15	0.12~0.2	2	3時間以上 (乾燥後) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	--------------------	-------------	----------	---	--------------------------	-----------------------------

使用可能上塗り:ルームバリア水性シリコンNT、ルームバリア水性シリコンNT-BI

施工上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 窯業系サイディングボード及びALCパネルのひび割れ、欠損などは、パネル製造メーカーが推奨する補修材、工法で補修してください。
- コンクリート及びモルタル下地のひび割れ、クラック、不具合、目詰りなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンカチオンSCフィラーなどで補修し、平潤にしてください。
- ウォールバリアNTシリーズを、光触媒、有機系、ふっ素系樹脂塗料などが施された特殊な下地に塗装する場合は予め付着性を確認の上、本施工を実施してください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が発生する場合は、施工を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれがある場合は施工を避けてください。
- 特殊コーティング(光触媒・ふっ素等)の金属系サイディングボードへ塗装する際は、付着性を十分に確認の上、本施工を実施してください。
- 吹付施工の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かき混ぜ、均一にしてから施工してください。
- うすめずばは、たるみ、屈み不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- たれ、塗り残しなどがないように均一に施工してください。
- つや調整品は、被塗物の形状、厚さ、色相、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合がありますので、ご了承ください。施工前に必ず試し塗りを行い、つや等の仕上がりを確認の上で、本施工を行ってください。
- ローラー塗装の場合、塗付むら、塗離れ、タッチアップなどにより、つやむらを生じやすい傾向にありますので、ご注意ください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。下地の形状や状態・施工方法・環境などによって増減することがあります。
- 各工程の作業時間及び自費養生は所定の時間を厳守してください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起すことがあります。また、塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむをえず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン塗プライマーを塗装してください。(ポリウレタン系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びエポキシ系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- 塗面とプラスチックなど可塑物を含むものと接触する箇所には塗装しないでください。
- ベンチ・ジャンクルジムなどが乗るもの、またテーブル・カウンター・棚などの置くものへの塗装は避けてください。
- 補修塗料は、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- B10タイプは、かびや藻などの繁殖抑制効果を示すものです。施工部位の形状(水分が溜まりやすい凹面など)や環境(植栽、森林、湖沼などに隣接している壁面、建物の北面、かびなど常時湿気が高い壁面など)により、かび・防藻性能が十分発揮されない場合があります。また、かび・防藻剤の効果は永久に持続するものではありませんので、抑制効果の低下と共に経時的にかびや藻などが発生する可能性があります。
- 旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、初期低塗りを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜剥離の原因となります。
- 遮光色や遮光色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある箇所には使用しないでください。
- 高熱されやすい軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディングなどの建材を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシンの場合、塗替後数年で旧塗膜が剥がれてくる場合があります。そのまま塗装すると剥がれがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境などの複数の条件が重なることでの材材の変形、塗膜の剥がれ、はく離が生じる場合がありますので、施工時の条件等に十分ご注意ください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
防護マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・スリッパ・手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。
もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを撒布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分にしてください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記の場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。

注1)①建物の構造、塗替部位の面積の広がり、汚れがどの程度に発生しているかによって、低汚染効果が期待されないことがありますのでご了承ください。

②各製品の取扱いには、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みください。正しく安全にご使用ください。

また、製品の詳細な内容が必要となる時は、安全データシート(SDS)をご確認ください。SDSは当社のホームページよりダウンロードしてください。

- 溶剤系塗料を使用する時は、左記の注意事項に合わせ下記事項に注意してください。
- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起す恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
有毒ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・スリッパ・手袋・前掛けなど
- 臭い・食品・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけ、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出す時には、こぼれないように注意してください。
- もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、または粉末消火器を用いて初期消火をしてください。

<https://www.suzukafine.co.jp>



iPad / iPhone用描寫カラーシミュレーションアプリ

i Color Paint



スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-9101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-662-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		

取扱店

URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

25/03